

政治社会学Ⅱ

科目ナンバリング SOC-217
選択 2単位

木下 浩一

1. 授業の概要(ねらい)

〇〇社会学といった呼称を、連字符社会学と呼ぶことがあります。本講が論じる政治社会学は、政治学と社会学にまたがった領域といえますが、あくまで社会学として論じていきます。

「政治」の定義はひとまずおくとして、本講では、個人に外在する「政治」が、われわれにどのような影響を及ぼすのか。われわれは「政治」に、どのような影響を与えうるのか。政治的コミュニケーションにおいて、メディアはどのように関わるのか。そのような問題を、ともに考えます。

本講では一部、ペアワークなどを行います。他の参加者と意見や考えを共有しましょう。

*新型コロナ・ウイルスの状況によって、内容を変更する場合があります。コロナ禍が維持・拡大の場合、コロナ関連の政治・社会状況を論じていきます。

*本講義は対面を想定していますが、新型コロナ・ウイルスの状況によっては、オンラインとなる可能性があります。

2. 授業の到達目標

- 1) 政治と社会について、説明することができる。
- 2) さまざまな「政治」を、われわれ個人や社会との関連のなかで捉え、論じることができる。

3. 成績評価の方法および基準

期末レポート(60%)と課題提出(40%)をもって評価する。

課題提出は、LMSの「掲示板」を使用する予定である。

4. 教科書・参考文献

教科書

*教科書は特に指定しない。

参考文献

伊藤高史 『ジャーナリズムの政治社会学』 世界思想社、2010年

加藤秀治郎・岩渕美克、他 『政治社会学』 一藝社、2013年

5. 準備学習の内容

▼授業では新聞記事を多用します。新聞記事や授業の内容から、1)興味関心を広げ、2)関心を絞り込み、3)特定の事例について調べ、4)再び受講してください。

▼毎週、1)から4)を繰り返し、2回の試験に臨んでください。リアクションペーパーやペアワークについても、同様です。

6. その他履修上の注意事項

▼「政治社会学Ⅰ」(前期)を履修することが望ましい。

▼アクチュアルな時事問題を積極的に取り入れていきます。そのため、シラバス上の授業内容と相前後する場合があります。

▼学びは「やる気」がすべてです。「興味」から出発し「深める」、このすべての過程に、やる気は欠かせません。コツは「楽しむ」こと。楽しむことができれば、自ずとやる気がわき、継続できます。ただし、ここでいう「楽しみ」は、遊びのそれとは違います。大学ならではの知的な楽しみを共有しましょう。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス、イントロダクション
- 【第2回】 政治に関する一般的理解:何が、どう問題なのか
*第2回以降、新型コロナ・ウイルス関連を多く採り上げる可能性がある。
- 【第3回】 われわれは何を、どこまで知っているのか:構築されたリアリティ
- 【第4回】 具体的事例①:トランプ大統領とフェイクニュース
- 【第5回】 具体的事例②:ケネディ大統領と米国民がみた「夢」
- 【第6回】 具体的事例③:小泉首相におけるポピュリズム
- 【第7回】 具体的事例④:日本における「政治の季節」~若者が政治に熱狂した時代
- 【第8回】 前半のまとめと中間試験
- 【第9回】 中間試験のフィードバック
- 【第10回】 グローバル化の政治的影響①:国境がなくなる?
- 【第11回】 グローバル化の政治的影響②:行き過ぎた市場原理
- 【第12回】 政治過程のメカニズム
- 【第13回】 政策決定のメカニズム
- 【第14回】 質疑応答とペアワーク
- 【第15回】 まとめと期末試験